



コール接続時の RADIUS 暫定アップデート

コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能では、課金サーバーにコール接続のタイムスタンプを提供する追加のアカウントングレコードが生成されます。

- [コール接続時の RADIUS 暫定アップデートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能を有効化する方法 \(1 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(2 ページ\)](#)
- [コール接続時の RADIUS 暫定アップデートの機能情報 \(4 ページ\)](#)

コール接続時の RADIUS 暫定アップデートに関する情報

コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能を有効にすると、Cisco IOS ソフトウェアは、コールレグが接続されたときに、追加の更新済み中間アカウントングレコードを生成してアカウントングサーバーに送信します。コールレグは、Voice over IP (VoIP) ネットワーク内のコール接続の別個のセグメントであり、ルータと、ベアラチャネルを介したテレフォニーエンドポイントまたはセッションプロトコルを使用した別のエンドポイントとの間の論理的な接続です。コール接続時に使用可能なすべての属性 (h323-connect-time や backward-call-indicators など) がこの更新済み中間アカウントングレコードによって送信されます。

コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能を有効化する方法

次のタスクを実行して、コールレグが接続されたときに、Cisco IOS で追加の更新済み中間アカウントングレコードを生成してアカウントングサーバーに送信できるようにします。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `aaa new-model`

- 4. `gw-accounting aaa`
- 5. `aaa accounting update newinfo`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： <code>Router> enable</code>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none">• パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： <code>Router# configure terminal</code>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	aaa new-model 例： <code>Router(config)# aaa new-model</code>	認証、認可、およびアカウントिंग（AAA）を有効化します。
ステップ 4	gw-accounting aaa 例： <code>Router(config)# gw-accounting aaa</code>	AAA システムを通じてアカウントिंगを有効化し、コール詳細レコード（CDR）をベンダー固有属性（VSA）の形式で RADIUS サーバーに送信します。
ステップ 5	aaa accounting update newinfo 例： <code>Router(config)# aaa accounting update newinfo</code>	問題のユーザーに関する新しいアカウントिंग情報が生成されるたびに、一時アカウントングレコードを定期的にアカウントングサーバーに送信できるようにします。

その他の参考資料

次の項で、コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能に関する参考資料を紹介します。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
認証、許可、アカウントング（AAA）	「Configuring Authentication」、 「Configuring Authorization」、 および「Configuring Accounting」 モジュール。
RADIUS ベンダー固有属性	「RADIUS Vendor-Proprietary Attributes」 モジュール。

関連項目	マニュアルタイトル
ダイナミック プロンプトの設定、アカウントテンプレートのカスタマイズ、および音声ゲートウェイへの AAA 要求の転送	『Cisco IOS Dial Technologies Configuration Guide , Release 12.4T』 および 『Cisco IOS VPDN Configuration Guide , Release 12.4T』。

標準

標準	タイトル
なし。	--

MIB

MIB	MIB のリンク
なし。	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャ セットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

RFC

RFC	タイトル
RFC 2138	『Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS)』
RFC 2139	『RADIUS Accounting』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

コール接続時の RADIUS 暫定アップデートの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: コール接続時の RADIUS 暫定アップデートの機能情報

機能名	リリース	機能情報
<p>コール接続時の RADIUS 暫定アップデート</p>	<p>Cisco IOS XE Release 3.9S</p>	<p>コール接続時の RADIUS 暫定アップデート機能では、課金サーバーにコール接続のタイムスタンプを提供する追加のアカウントングレコードが生成されます。</p> <p>次のコマンドが導入または変更されました。 gw-accounting aaa および aaa accounting update</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。